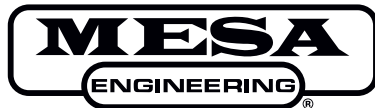


HEAD-TRACK™

HEAD + FX LOOP SWITCHER

取扱説明書



安全上の注意

- ・ この取扱説明書をよくお読み下さい。
- ・ この取扱説明書に従って下さい。
- ・ 全ての注意書きや警告にご注意下さい。
- ・ 本製品を水気のある場所の近くで使用しないで下さい。
- ・ 本製品を掃除するときは乾いた布のみを使用して下さい。
- ・ 今後も参照して頂けるようにこの取扱説明書を保管しておいて下さい。
- ・ 本製品の誤った接続やアース接続による故障は保証の対象外となります。
- ・ 本製品にはユーザーでは入手できない部品や、また静電気によるダメージを受けやすい部品が使用されていますので注意下さい。
- ・ 正しい極性/電圧/電流が得られる電源アダプターやユニバーサルタイプのベダルボードパワーサプライのみを必ず使用して下さい。それ以外を使用した場合、音質や商品の性能が損なわれたり、または製品にダメージを受けることがあります！詳しくは、コントロールと接続についての項目や仕様の項目をお読み下さい。

警告および責任に関する注意事項

- ・ Amplifier & Load Rating(アンプ&負荷電力定格)の最大値を決して超過しないようにご注意ください! 詳細については「Specifications」の項をご参照ください。
- ・ HEAD-TRACK™使用時は常にスピーカーキャビネットまたはロードデバイスを接続してください。HEAD-TRACKはロードボックスやロードデバイスではありません。
- ・ 2ピンプラグのAC電源ケーブルを備えた古いアンプをHEAD-TRACK™に接続する場合は適切なアースをご確認いただき、場合によっては技術者にご相談いただきアンプをグラウンド接地させるようにしてください。
- ・ 3ピンプラグのAC電源ケーブルをご使用の場合でも、アンプのセーフティーグラウンドを無効にしたり、外したり、リフトしたりすることは不当であるだけでなく、電気によるショックや感電の危険をもたらす可能性がありますのでご注意ください。
- ・ HEAD-TRACK™には、3ピンプラグのAC電源ケーブルで正しくグラウンド接地されている2台のアンプを使用するようにしてください。いずれかまたは両方のアンプが、AC電源ケーブルのプラグのグラウンド接地が不適切だったりリフトしている場合には、HEAD-TRACK™を使用するには安全とは言えません。
- ・ 政府の電気安全承認を受けているアンプでHEAD-TRACK™をご使用いただくことをお勧めいたします。該当しないアンプのご使用については自己責任のもとに行ってください。
- ・ 不適切な接続、不適切なグラウンド接地のアンプ、ユーザーの誤操作や誤接続によるHEAD-TRACK™またはHEAD-TRACK™内の部品の故障に起因する接続機材の損害または傷害に対して、弊社では一切の責任を負いません。

オーナーズマニュアル&オペレーティングガイド

この度はMESA/Boogie製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。そしてMESA/Boogieファミリーへようこそ！アメリカ カリフォルニアのベタルマにある、私たちのたった1つのファクトリーで製作している全ての製品は、卓越性への情熱、品質に対するコミットメント、顧客サポートへの誠実さを持ち合わせています。世界で最も優れたアンプをハンドメイドで製作しているのと同じスタッフがHEAD-TRACK™ HEAD+FX LOOP SWITCHERを組み立てていますので、全てのユーザーが同じリソースを手にする事が可能です。

OVERVIEW

HEAD-TRACK™は、2台のアンプで1台のスピーカーキャビネットまたはロードデバイスを共有できるため、複数のキャビネットのスペースを消費することなく使用できるアンプ・スイッチャーです。2台のアンプでエフェクトを共有するパッシブエフェクトループを装備しており、楽器やスピーカーレベルの信号にシンクして自動的に切り替わります。スイッチングのタイミングは正確なうえに非常に静かで、大きなポップ、ドロップアウト、ハムやノイズはありません。独自のコントロールおよびスイッチング回路は15年以上採用されているもので、一度にアクティブになるのは1台のアンプのみ、選択されていないアンプはインターナルロードに接続することで保護します。

コントロール&端子

IMPORTANT: アンプをOFF、音量レベルをゼロに設定して、HEAD-TRACK™に電源を供給する前に次の接続を全て行ってください。また、アンプをスタンバイ状態からONにした後、15秒以上待ってからHEAD-TRACK™での切替を行うことでHEAD-TRACK™の電圧が安定し、スイッチング・トランジェントが最小限に抑えられます。

1. ギターまたはペダルボードチェーンの最後のペダルのOUTPUTからHEAD-TRACK™のGUITAR INPUTに接続してください。
2. TO AMP INPUTジャックをアンプAのギターインプットに接続します。

3. TO AMP B INPUT端子をアンプBのギターインプット端子に接続します。

Note: 全てのギター/エフェクトループレベルの接続には、シールドされている高品質の1/4" 楽器用ケーブルを使用し、機材との接続が常に最短距離となるよう心がけてください。ケーブルの長さが長くなればなるほど静電容量が増加するため、こうすることで信号の損失、特に高周波のロールオフが最小限に抑えられます。

4. FROM A SPKR OUT端子をアンプAのスピーカーアウト端子に接続します。

5. FROM B SPKR OUT端子をアンプBのスピーカーアウト端子に接続します。

6. TO SPKR CAB/LOAD端子をスピーカーキャビネットもしくはロードデバイスのインプット端子に接続してください。

Note: 全ての高出力スピーカーレベルの接続には、シールドされていない1/4" スピーカーケーブルを使用し、ケーブルの仕様は常に最も太いゲージ(より低いAWG数=太いゲージ)と最短距離での接続を心がけてください。スピーカーレベルの接続にはシールドされたケーブルを使用しないでください！

WARNING: スピーカーキャビネットまたはロードデバイスを、常にTO SPKR CAB/LOADジャックに接続する必要があります。そうでない場合、選択したアンプが損傷しHEAD-TRACK™にも不具合が発生する可能性があります。

7. 両方のアンプのスピーカー出力インピーダンスが、スピーカーキャビネットまたはロードデバイスのスピーカー出力インピーダンスとマッチするように設定されていることを確認します。マッチングが不可能な場合は、インピーダンスの mismatch を実行するためのIMPEDANCE MATCHINGダイアログを参照してください。

Note: どちらのアンプにもエフェクトループがない場合は、#11に進みます。

8. TO FX IN端子とFROM FX OUT端子を、共用エフェクトペダルまたはプロセッサのインプット端子とアウトプット端子にそれぞれ接続します。

Note: 1台のアンプにだけエフェクトループがある場合は、アンプAとして接続し、#10をスキップすることを推奨します。

9. アンプAのエフェクトループセンドとリターンジャックにFROM A SENDとTO A RTRNジャックをそれぞれ接続します。
10. FROM B SENDとB RTRN端子をそれぞれアンプBのエフェクトループセンドとリターンジャックに接続します。
11. **IMPORTANT:** 各アンプがアンプAまたはアンプBのいずれかの端子に間違いなく接続されていることを再度確認してください。アンプAとアンプBの接続を誤って交換すると、両方のアンプやHEAD-TRACK™に損傷を与えることがあります。
12. 最初にHEAD-TRACK™の電源を入れ、次に共通のエフェクトペダルやプロセッサー、その他のエフェクトペダルの電源をONにします。HEAD-TRACK™をペダルボードに取り付けて共通のパワーサプライで電源を取る場合、最初にペダルボード全体の電源をONにしてください。
13. HEAD-TRACK™本体のスイッチを数回押してリレーが切り替わっていることを確認し、LEDがON/OFFしていることを確認します。
14. 両方のアンプの音量レベルを0に設定して、アンプの電源を入れます。
15. 両方のアンプをスタンバイ状態からONにします。15秒以上待ってHEAD-TRACK™内の電圧を安定させることで、大きなスイッチング・トランジェントを最小限に抑えることができます。
16. 選択したアンプの音量レベルコントロールをわずかに上げて、演奏中にノイズやその他のイレギュラーなサウンドが聴こえるようにします。

WARNING: ノイズや異常がある場合は、すぐに両方のアンプをスタンバイ状態にして電源を切ってください。全てのケーブルが正しく接続されていることを確認したら、再度試してみてください。

17. HEAD-TRACK™本体のスイッチを1回押してもう1台のアンプを選択し、音量レベルコントロールをわずかに上げて、演奏中にノイズやその他のイレギュラーなサウンドが発生しないかを確認します。

WARNING: ノイズや異常がある場合は、すぐに両方のアンプをスタンバイ状態にして電源を切ってください。全てのケーブルが正しく接続されていることを確認したら、再度試してみてください。

18. 両方のアンプで全てのサウンドに問題がなければ、セッティングは完了です。

Note: ケーブルが多く使用されて煩雑になる場合、HEAD-TRACK™ジャックの接続に合わせて、ケーブルのプラグをテープや熱収縮チューブで赤色(A)と青色(B)などで色分けすることをお勧めします。こうすることでセットアップや片付けをはるかに速く行うことが可能になるうえに、不適切な接続の可能性を最小限に抑えます。

USER I/Oについて

LED A この赤いLEDが点灯した時は、アンプAがON/アクティブであることを示します。

LED B この青いLEDが点灯した時は、アンプBがON/アクティブであることを示します。

A/B スイッチ このヘビーデューティのストップスイッチは、アンプを切り替えて、スピーカーキャビネットまたはロードデバイスをアクティブに駆動させるスイッチです。

Note: アンプをスタンバイ状態からONにした後15秒以上待ってHEAD-TRACK™内の電圧を安定させることで、大きなスイッチング・トランジェントを最小限に抑えることができます。

9VDC ジャック 標準的なDC電源ジャックで、一般的な9VDC電源アダプターまたはユニバーサルタイプのペダルボードパワーサプライから2.1mm x 5.5mmのパレルコネクターを接続可能で、センターマイナスの極性で200mAの電流を供給します。詳細については「Specifications」の項を参照してください。

Note: DC電源アダプターは付属していません。

Note: 使用中にHEAD-TRACK™から電源が切断されると、アンプAがデフォルト設定されます。

WARNING: このデバイスの損傷を防ぐために、AC電源またはその他のDC電源などの指定の仕様以外の電源をこのジャックに接続しないでください。

REMOTE SWITCH ジャック この1/4" TRS(Tip/Ring/Sleeve)フォンジャックは、別売のリモートフットスイッチまたはMIDIスイッチャーのいずれかを接続してHEAD-TRACK™をリモートコントロールするための入力端子です。この接続方法を用いれば、アンプやエフェクトペダル、プロセッサのすぐ近くにHEAD-TRACK™を配置して、ケーブルが整理された状態を保ち誤って抜いてしまうような可能性を最小限に抑えることができます。このジャック使用時は本体のA/Bフットスイッチは無効になります。

Note: MIDIスイッチャーでHEAD-TRACK™をリモートコントロールする場合、シンプルなグラウンドコンタクトクロージャータイプのラッチングスイッチと、シールドされている1/4" TS(Tip/Sleeve)ケーブルが必要です。アンプAは、コンタクトクロージャーがオープンの際に選択され、コンタクトクロージャーがクローズもしくはTip/SleeveがショートすることでアンプBが選択されます。

Note: 別売のリモートフットスイッチを使用する場合、シールドされている1/4" TRS(Tip/Ring/Sleeve)ケーブルで接続すればデュアルカラーLEDが有効になり、赤色=アンプA、青色=アンプBといったように各アンプごとに別々のLEDカラーで表示されるようになります。1/4"TRSケーブルが用意できない場合は、シールドされている1/4" TS(Tip/Sleeve)ケーブルを代わりに使用することで、赤色=アンプA、OFF=アンプBの表示となります。

INSTRUMENT I/Oについて

全てのギター/エフェクトループレベルの接続には、シールドされた高品質の1/4" 楽器用ケーブルを使用し、機材との接続が常に最短距離となるよう心がけてください。ケーブルの長さが長くなればなるほど静電容量が増加するため、こうすることで信号の損失、特に高周波のロールオフが最小限に抑えられます。

GUITAR INPUT この1/4" フォンジャックはインプットで、ギターやペダルのアウトプットからの信号を受けます。

TO AMP A INPUT この1/4" フォンジャックはアウトプットで、アンプAのインプットに信号を送ります。またHEAD-TRACK™、ペダル、ギターをアースグラウンドで接続していますので、3ピンプラグのAC電源ケーブルで適切にグラウンド接地されたアンプのインプットに接続してください。

TO AMP B INPUT この1/4" フォンジャックはアウトプットで、アンプBのインプットに信号を送ります。またHEAD-TRACK™、ペダル、ギターをアースグラウンドで接続していますので、3ピンプラグのAC電源ケーブルで適切にグラウンド接地されたアンプのインプットに接続してください。

EFFECTS LOOP I/Oについて

全てのギター/エフェクトループレベルの接続には、シールドされている高品質の1/4" 楽器用ケーブルを使用し、機材との接続が常に最短距離となるよう心がけてください。ケーブルの長さが長くなればなるほど静電容量が増加するため、こうすることで信号の損失、特に高周波のロールオフが最小限に抑えられます。

HEAD-TRACK™のエフェクトシェア機能は、ラインレベルとインストゥルメントレベルのエフェクトペダルに合わせて調整されていますが、一部のラックマウントエフェクトプロセッサを使用する場合は、グラウンドループに起因したハム/ノイズが発生する可能性があります。このノイズが発生し、プロセッサにグラウンドリフトおよびアイソレートされた入出力端子がない場合は、MESA/Boogie CLEARLINK™ CONVERTER / ISO TRANSFORMERなどの外部オーディオ・アイソレーション・トランスフォーマーをプロセッサの入出力とHEAD-TRACK™の間に接続する必要があります。

ほとんどのアンプはシンプルなシリーズエフェクトループ設計を採用しているため、HEAD-TRACK™に備えているエフェクトループ切替機能は、ほとんどのアンプとの組み合わせで動作します。シリーズとパラレルといったように2台のアンプが異なるエフェクトループデザインを持つ状況では、エフェクターの設定やパラレルループアンプの設定に特別な注意が必要な場合があります。しかし、ヘッドスイッチャーを使用していない通常の状態においても、エフェクトループの設計の異なるアンプ間でエフェクトを共有することは簡単ではありません。

TO FX IN この1/4" フォンジャックはアウトプットで、選択されたアンプのエフェクトループセンドからルーティングされるシェアリングするエフェクトのインプットに信号を送ります。このジャックはFROM FX OUT端子と内部接続される構造になっているため、2つの端子間にエフェクトを接続しない場合には信号が通過します。

FROM FX OUT この1/4" フォンジャックはインプットで、選択されたアンプのエフェクトループセンドからルーティングされるシェアしているエフェクトのアウトプットに信号を送ります。このジャックはTO FX IN端子と内部接続される構造になっているため、2つの端子間にエフェクトを接続しない場合には信号が通過します。

TO A RTRN この1/4" フォンジャックはアウトプットで、アンプAのエフェクトループリターンジャックにエフェクト信号を戻します。

FROM A SEND この1/4" フォンジャックはインプットで、アンプAのエフェクトループセンドジャックからの信号を受けます。アンプAが選択されているとき、信号はTO FX IN端子を介してシェアしているエフェクトのインプットにルーティングされます。

TO B RTRN この1/4" フォンジャックはアウトプットで、アンプBのエフェクトループリターンジャックにエフェクト信号を戻します。

FROM B SEND この1/4" フォンジャックはインプットで、アンプBのエフェクトループセンドジャックからの信号を受けます。アンプBが選択されているとき、信号はTO FX IN端子を介してシェアしているエフェクトのインプットにルーティングされます。

SPEAKER LEVEL I/Oについて

全ての高出力スピーカーレベルの接続には、シールドされていない1/4" スピーカーケーブルを使用し、ケーブルの仕様は常に最も太いゲージ(より低いAWG数=太いゲージ)と最短距離での接続を心がけてください。スピーカーレベルの接続にはシールドされたケーブルを使用しないでください！

FROM A SPKR OUT この1/4" フォンジャックはインプットで、アンプAのスピーカーアウトジャックからハイパワーのスピーカーレベル信号を受けます。

FROM B SPKR OUT この1/4" フォンジャックはインプットで、アンプBのスピーカーアウトジャックからハイパワーのスピーカーレベル信号を受けます。

TO SPKR この1/4" フォンジャックはアウトプットで、選択されたCAB / LOADアンプ (AまたはB) からスピーカーキャビネットまたは負荷デバイスにハイパワーのスピーカーレベル信号を供給します。

WARNING: スピーカーキャビネットまたはロードデバイスは、常にTO SPKR CAB / LOADジャックに接続する必要があります。選択したアンプやHEAD-TRACK™が損傷する可能性があります。

インピーダンスマッチングについて: 2台のアンプのインピーダンスを、使用するスピーカーキャビネットまたはロードデバイスに必ずマッチさせてください。ほとんどのチューブアンプは、出力インピーダンスとロードインピーダンスがマッチしたときに最高のフィールとポテンシャル、サウンドを発揮するように設計されています。マッチングが不可能な場合は、以下の mismatch を考慮してご使用前にアンプの仕様を参照してアンプの許容範囲内であることを確認してください。しかしながら、インピーダンスが mismatch したチューブアンプでは、わずかに異なるフィールとレスポンスを望めます。アンプの出力インピーダンスの2倍(4Ωアンプ→8Ωキャビネットorロードデバイスまたは8Ωアンプ→16Ωキャビネットorロードデバイス)のスピーカーキャビネットまたはロードデバイスにチューブアンプを接続すると、チューブの動作が弱くなり、結果的に寿命が延びることになります。アンプとスピーカーやロードデバイスを mismatch の状態で駆動するときはインピーダンス値をスキップさせないでください。例えば、4Ωアンプ→16Ωキャビネットorロードデバイスなどの接続では絶対に使用しないでください！

SPECIFICATIONS

- Minimum Operating Voltage: 9VDC
 - Nominal Operating Voltage: 9.6VDC
 - Maximum Operating Voltage: 12VDC
 - Maximum Current Draw: 200mA @ 9VDC
 - DC Adapter (別売): 2.1 x 5.5mmバレルプラグ、センターマイナス
 - Amplifier & Load Rating: 4, 8 or 16 ohm @ 150W Max.
 - Switching Technology: Electro-Optical & Electro-Mechanical
 - Internal Load (選択されていない方のアンプを保護します): 8 ohm 50W
 - Weight: 680g
 - Dimensions (W x D x H): 181 x 99 x 50 mm
 - Switch Height (上記サイズ表記の"H(高さ)"には含まれていません): 16 mm
- * **Note:** 継続的な改善のためすべての仕様は予告なく変更されることがあります。

FAQ & ヒント

1. スイッチング電源方式のアダプター/パワーサプライ(SMPS)を使用した場合に、高周波やその他のノイズが発生することがありますがなぜですか？

SMPSアダプターの中には一般的なものよりもノイジーな個体があり、信頼できる大手ブランドのものではありません。もう1つの理由として考えられるのは、単一のアダプターから多数のデバイスに電源を供給することです。それらの多くは高い電流出力値で多くのデバイスに電力供給できることを謳っていますが、それによってノイズの発生や増加を招く恐れがあります。このようなノイズが発生する場合には別のアダプターを試してみることもや、ペダルボードの各デバイスに個別に電力供給するのに十分な、アイソレートされた出力を備えたユニバーサルタイプのペダルボードパワーサプライを使用することをお勧めします。より良い電源環境はノイズの少なさへ繋がり、より良いトーンを生み出す結果となります。

2. 1台(または2台両方)のアンプにバズやハムなどのノイズが発生しますが、どうすればノイズを除去することができますか？

まず、3ピンAC電源コードプラグによって両方のアンプが適切にグラウンドに接地していることを確認してください。アンプのグラウンドの接地と安全性に関する追加情報については、「警告と責任に関する注意事項」をご参照ください。2台のアンプを接続するときのバズやハムおよびその他のノイズの最も一般的な原因はグラウンドループであり、HEAD-TRACK™のデザインはスイッチング回路でそれらを防ぎます。グラウンドループが展開する唯一の場所は、HEAD-TRACKに接続される共有エフェクトです。HEAD-TRACK™のエフェクトシェア機能は、ラインレベルとインストゥルメントレベルのエフェクトペダルに合わせて調整されており、通常はアンプへの接続を介してグラウンドに接地することになります。一部のラックマウントタイプのエフェクトプロセッサを使用すると、グラウンドループによるハムやノイズが発生することがありますが、プロセッサにグラウンドリフトやアイソレートされた入出力端子がない場合は、CLEARLINK CONVERTER / ISO TRANSFORMERなどの外部のオーディオ・アイソレーショントランスをプロセッサの入力と出力およびHEAD-TRACKの間に接続する必要があります。

3. 使用中にHEAD-TRACK™の電源を切るとどうなりますか？

HEAD-TRACK™はデフォルトでアンプAが選択されます。

4. 搭載しているフットスイッチを使用する場合、HEAD-TRACK™をアンプとスピーカーキャビネットからどのくらい離して設置できますか？

ここでの制限要因は、シールドされていないスピーカーケーブルの長さです。下記は、使用されているスピーカーケーブルのゲージに基づいた推奨です。

16AWG @ 10ft(約3m)、14AWG @ 20ft(約6m)、12AWG @ 30ft(約9.1m)、10AWG @ 40ft(約12.2m)

5. HEAD-TRACK™の"スピーカー"インピーダンスは？

HEAD-TRACK™はロードボックスではありません。スピーカーキャビネットまたはロードデバイスをTO SPKR CAB/LOAD端子に必ず接続する必要があります。正しい接続を行わないと、選択されたアンプやHEAD-TRACK™が損傷する恐れがあります。

6. HEAD-TRACK™にはスピーカーキャビネット用の出力ジャックが1つしかありませんが、2台のキャビネットを使用したい場合どのように接続すればよいですか？

パラレルジャックを備えているスピーカーキャビネットが多数あるので、HEAD-TRACK™から最初のキャビネットに接続し、2台目のキャビネットを1台目のキャビネットのパラレルジャックに接続することができます。あるいは、外部のパラレルスピーカージャンクションボックスで同じ接続が可能になります。

7. HEAD-TRACK™を使用して通常のABYボックスのように2台のアンプから同時に出力することはできますか？

いいえ、できません。HEAD-TRACK™は、2台のアンプのうち1台だけをアクティブにして、1台のスピーカーキャビネットまたはロードデバイスに接続されます。2台のアンプを同時に演奏するにはそれぞれに別々のスピーカーキャビネットまたはロードデバイスが必要なため、その場合にはSWITCH-TRACK ABY™をご使用ください。つまり、それぞれが別々のスピーカーキャビネットに接続された2台のアンプを切り替える場合は、常に1台のアンプからだけ出力するのであればHEAD-TRACK™を使用することができます。HEAD-TRACKの3つのスピーカーレベルのジャックは使用せずに、2台のアンプのエフェクトループを接続してエフェクトをシェアすることができるので確実にメリットが生まれます。

8. アンプヘッドスイッチャーとディレイエフェクトを同時使用することは不可能である、または問題につながる可能性があるという聞いたことがあるが、本当ですか？

他のほとんどのアンプヘッドスイッチャーでは、スイッチャーのアウトプットとアンプのインプットの間、またはアンプのエフェクトループにディレイやエコー、リバーブといったエフェクトを接続することで確実に不具合を引き起こします。これは、スイッチャーがアンプからエフェクトを切り離すことができず、アンプの選択が解除された後もエフェクトのスラップバックやトレイルオフなどの信号が続くことでアンプやスイッチャーが損傷する可能性があるからです。これは、スイッチャーのインプットの前段のみがディレイエフェクトを使用できる唯一のポイントだということの意味しており、ハイゲインアンプのインプットの前段でディレイを使用したことがあるプレイヤーであれば、この接続方法ではサウンドが正常にならないことをご存知だと思います。HEAD-TRACK™では、スイッチャー本体にエフェクトループを組み込むことでこの問題を解決しました。楽器やスピーカーレベルの信号と同期した切替が可能なら、ディレイ、エコー、リバーブやその他のエフェクトを2台のアンプでシェアしながら、これらのエフェクトがポテンシャルを最大に発揮できるアンプのエフェクトループに接続して使用することができます。

9. エフェクトループ機能があるアンプとないアンプ間でエフェクトを共有することは可能ですか？

共有することは可能ですが、使用するエフェクトやアンプによってはスイッチング時のトランジェントが増加することがあります。しかし、試してみるまでは判明しませんので、ここではどのようにすればよいかの例を記載します。まず、アンプBにエフェクトループがないと仮定します...短い1/4"ジャンパーケーブルを使用し、TO AMP B INPUT 端子とFROM SEND B端子を接続します。次に、TO B RTRN端子をアンプBのインプット端子に接続します。その他のHEAD-TRACK™の接続はすべて通常どおりのままです。これにより、アンプBが選択

されているときは共有エフェクトはアンプBのインプットに、アンプAが選択されているときはアンプAのエフェクトループを經由してルーティングされます。

10. HEAD-TRACK™は、MIDIスイッチングシステムまたは一般的なフットスイッチを使用してリモートコントロールできますか？

コントロール可能です。必要なのはシンプルな"ラッチタイプ"のスイッチで、REMOTE SWITCHジャックに一般的な1/4" TS(Tip/Sleeve)シールドケーブルで接続します。アンプAはコンタクトクローザー接点がオープンの際に選択され、クローズ(Tip-Sleeveがショート)するとアンプBが選択されます。REMOTE SWITCHジャックを接続すると、本体のフットスイッチは無効になりますのでご注意ください。

11. ベースアンプにHEAD-TRACK™を使用することはできますか？

可能ですが、仕様をご確認いただき“Amplifier & Load Ratings”の値を超えないようにしてください。

12. HEAD-TRACK™を使用して、チューブアンプとソリッドステートアンプ/トランジスタアンプ、または2台のソリッドステートアンプまたはトランジスタアンプを切り替えることはできますか？

HEAD-TRACK™は、チューブアンプとソリッドステートアンプ/トランジスタアンプ、または2台のソリッドステートアンプまたはトランジスタアンプの切替に使用することが可能です。HEAD-TRACK™は、選択されていないアンプと接続エラーを保護するために8Ωのインターナルロードを装備しています。どのような状況においても、ソリッドステートまたはトランジスタアンプの最小インピーダンスを下回ることは決してありません。

ソリッドステートアンプまたはトランジスタアンプもまた、チューブアンプと同様に、ロードインピーダンスを増やすミスマッチでの接続が可能ですが、出力は低くなってしまいます。アンプの許容範囲内かどうかを確認する場合は、アンプの仕様を参照するか、製造元にお問い合わせください。

インピーダンスマッチングについて:

2台のアンプのインピーダンスを、使用するスピーカーキャビネットまたはロードデバイスに必ずマッチさせてください。ほとんどのチューブアンプは、出力インピーダンスとロードインピーダンスがマッチしたときに最高のフィードバックとポテンシャル、サウンドを発揮するように設計されています。マッチングが不可能な場合は、以下の mismatches を考慮してご使用前にアンプの仕様を参照してアンプの許容範囲内であることを確認してください。しかしながら、インピーダンスが mismatches したチューブアンプでは、わずかに異なるフィードバックとレスポンスを望めます。アンプの出力インピーダンスの2倍(4Ωアンプ→8Ωキャビネットorロードデバイスまたは8Ωアンプ→16Ωキャビネットorロードデバイス)のスピーカーキャビネットまたはロードデバイスにチューブアンプを接続すると、チューブの動作が弱くなり、結果的に寿命が延びることになります。アンプとスピーカーやロードデバイスを mismatches の状態で駆動するときはインピーダンス値をスキップさせないでください。例えば、4Ωアンプ→16Ωキャビネットorロードデバイスなどの接続では絶対に使用しないでください！



ギブソン・ブランズ・ジャパン株式会社

Email: service.japan@gibson.com

「@gibson.com」からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします

お電話でのお問い合わせ窓口：0120-189433（通話料無料）

受付時間 9:30 - 17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）